

聖学院大学 第5回大学評価会議 報告書(総括)

I 聖学院大学 第5回大学評価会議 実施概要

1. 趣旨

聖学院大学の教育方針・内容及び学外との連携などを対象にした自己点検・評価による改善に関して、地元自治体及び地域の経済団体等からご意見・評価を頂き、一層の大学教育の拡充及び地域との連携の推進を図る。

2. 第5回テーマ

「学生が主役の大学ーコロナ後のキャンパス再生ー」

本学の教育活動・学生支援等に関する見学会（キャンパスツアー）、議題の説明後、グループ協議により本学活動に関するご意見・評価・ご提言をいただいた。

3. 外部有識者に意見・評価・提言を求める事項

議題1. コロナ後の聖学院大学の特徴ある教育活動・学生支援

議題2. 教学システム改革による学修成果の可視化と課題

議題3. 聖学院大学の教育方針・内容に関する事項

・入学者選抜、教育課程編成、3つのポリシーを踏まえた自己点検・評価等

追加議題. 聖学院大学の人材育成・経営改革に関する事項

4. 外部委員

日本薬科大学 学長 都築 稔 氏

放送大学埼玉学習センター 所長 川又 伸彦 氏

人間総合科学大学 法人事務局長 井上 雅之 氏

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 教育指導幹 森 孝博 氏

上尾市市民生活部 次長 秋山 真吾 氏

さいたま市教育委員会学校教育部高校教育課 主席管理主事 石井 康仁 氏

埼玉経済同友会 専務理事・事務局長 大石 克紀 氏

上尾商工会議所 専務理事 三井田 晴宏 氏

さいたま商工会議所 総務本部長 八島 健 氏

さいたま北商工協同組合 副理事長 新井 一年 氏

埼玉県社会福祉協議会 事務局長 林田 泰明 氏

埼玉中小企業家同友会 専務理事 清水 信彰 氏

5. 開催日時・会場

日時：2024年7月17日（水）午前10時00分～12時30分

会場：聖学院大学 エルピス館エルピスホール他

出席者：外部委員 12名、内部委員 14名

II 外部委員の意見・評価・提言

今回の大学評価会議では、聖学院大学の教育活動・学生支援、教学システム改革、そして今後の経営改革など、多岐にわたる議題が議論され、外部委員からは、大学の教育理念や学生への手厚い支援に対する高い評価が多数寄せられた。一方で、学生の主体性や社会性に関する懸念などが呈されるとともに、少子化や社会の変化に対応するために、さらなる改革が必要であることも指摘された。

議題1：コロナ後の聖学院大学の特徴ある教育活動・学生支援

アドバイザーグループ懇談会における多様な学生に対する教員の丁寧な対応や、学生エンカレッジセンター窓口フィリアにおける学生支援のハブ機能等が高く評価された。アセンブリアワーにおけるルワンダで活動するNGOの講演会は、学生の視野を広げる上で有効であるとの意見が出され、学生の学びの上で、地域貢献活動やボランティア活動などを行い、地域の発展に必要な人材を育成していく方針について評価がなされた。

議題2：教学システム改革による学修成果の可視化と課題

学生の成長を可視化するツールである学修ポートフォリオの導入について、学生指導への活用の可能性を評価する一方、実際の学生や教職員の利用状況について質疑応答が交わされ、可視化される学修成果を利用した企業との連携や高等学校等への広報について提言がなされた。

議題3：聖学院大学の教育方針・内容に関する事項

大学としての自己点検・評価体制が整っており、PDCAサイクルが適切に機能していること、中長期計画「聖学院ビジョン2023－2027大学実行プラン」の実施体制等について評価がなされた。またキリスト教教育を基盤とした人間性を重視する教育課程が提供されており、キャリア・就職支援の工夫がみられることが評価された。入学者選抜にむけて大学の強み・魅力を対外的に積極的に発信すること、就職活動時期の早期化に対応する企業側とのコーディネート等について提言がなされた。

追加議題：聖学院大学の人材育成・経営改革に関する事項 ・ 全体的な意見

入学定員変更とともに、大学の強みを見つめ直し、資源の集中や経営の効率化等、将来を見据えた方針を策定した点について評価がなされた。少人数教育による学生支援のさらなる充実、教育の質の維持・向上を目指す教育課程再編や、持続可能な経営体質への転換、地域連携のさらなる強化等について期待がよせられ、関東近県であらゆる機会を通じた大学の知名度の向上について提言がなされた。

III. 外部委員の意見・評価・提言を受けた聖学院大学学長の所見・総括

本会議においていただいた様々な評価やご提言を、今後の聖学院大学の改革に生かしていく所存である。本会議において提供した入試、教学等の様々なデータを分析し、エビデンスに基づく改革を続けていきたい。新たな入学定員のもとで取り組む改善活動の成果を1年後にご報告させていただき、再びご教示をいただく機会を作ってまいりたいので今後ともお力添えをお願いしたい。

以上

当日の様子

<キャンパスツアー>



日本文化学科学科室



アドバイザーグループ懇談会（日本文化学科）



アドバイザーグループ懇談会（心理福祉学科）



学生エンカレッジセンター窓口「フィリア」

<グループ討議>

